

SDG2「飢餓をゼロに」のために自分たちができること アクションシート(個人用)

年 組 名前

【アクションの解説】

1.世界のいまを知る

日本ではあまり見かけないけど、世界には食べ物が足りなくて困っている人がたくさんいます。
まずは世界や日本の現状を知ることが飢餓をゼロにするための最初の一步になります。

2.気候変動の対策をする

気候が変わって変なお天気が増え、農業が大変になっています。
特にアフリカやアジアでは食べ物が足りなくなる人が増えています。
地球温暖化がこれ以上進まないようにみんなが日々の生活で気をつけることも、飢餓をなくす大事な一歩です。

3.フードバンクへ寄付する

フードバンクとは、食べられるのに捨てられる可能性があった食品を集めて困っている人や団体に無料であげる仕組みです。
食品ロスを減らしながら食べ物に困っている人を助けることができます。

4.食べ残さない

世界で作られる食べ物の3分の1が捨てられていますが、一方で世界にはまだ食べ物が足りない人がたくさんいます。食べ残さないように心がけることが、食品ロスを減らすための、小さいながらも大きな力となります。

5.地産地消を心がける

地元で作られた食べ物を使うと、運ぶときに出るゴミや地球温暖化につながるガスの排出を減らせます。地元の食べ物を食べることは、日本の食べ物を作る力を強くし、地球を守ることに繋がります。

6.フェアトレード商品を購入する

フェアトレードは、発展途上国の農家や働く人たちが作ったものを、適正な値段で買うことで、その人たちの暮らしを助ける仕組みです。これによって、収入が増えて貧しい生活や食べ物が足りない問題を減らせます。

7.ボランティアに参加する

日本には、フードバンクや子ども食堂、国際協力の団体などがあり、食べ物の問題を解決しようとがんばっています。多くの団体では、お金をもらわずにボランティアとして手伝う人が大切な役割をしています。

8.寄付をする

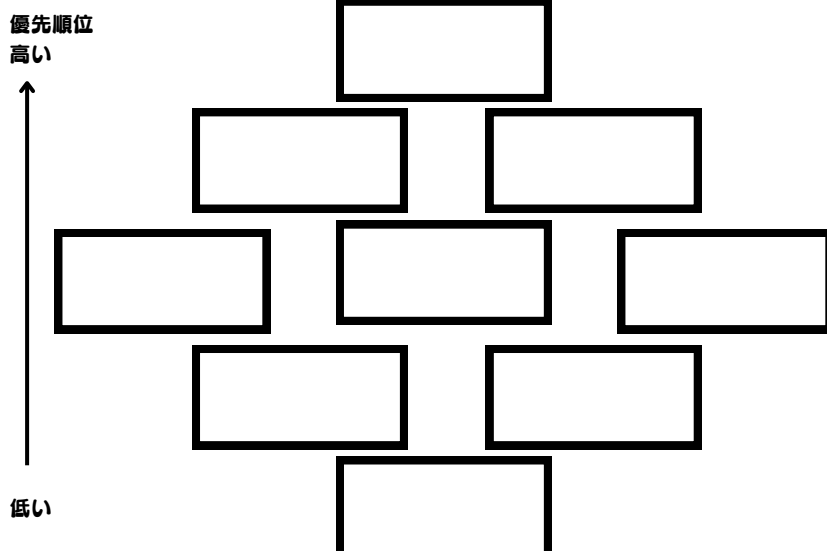
フードバンクや子ども食堂、国際協力の団体の多くは、みんなの寄付で動いています。
少しのお金を寄付したり、学校で募金をしたり、使わないものを寄付することも、飢餓をなくす活動を助けることになります。

9.自分の気づきや行動を周りに発信する

自分の気づきや行動を周りの人(友人・家族・先生)と共有することで、他の人にも関心を広げたり、行動を促すきっかけを作ったりすることができます。自分の気づきは、まだ知らない誰かにとっての入口になります。同じように悩んでいた人が、あなたの考えを知って「自分にもできそう」と思えるかもしれません。

グループで考えたダイヤモンド・ランキングを記入しよう

自分なりのアクションを宣言しよう



わたしは、食を守るために

をします！